

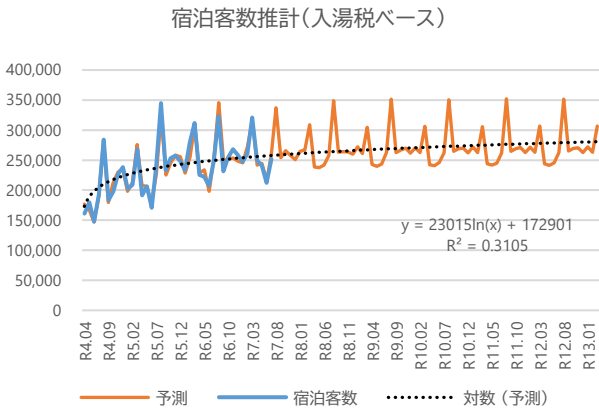
旅行者体験価値指数 = (宿泊客数スコア×0.4) + (リピーター率スコア×0.4) + (外国人比率スコア×0.2)

① 宿泊客数推計（2026～2030）

◎ 入湯税ベースの宿泊客数推計

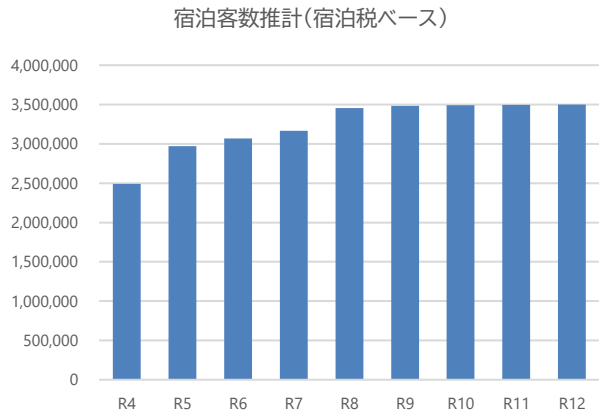
	単位:人				
	R8	R9	R10	R11	R12
4月	238,374	242,849	242,531	243,855	243,792
5月	237,491	239,667	240,954	241,639	241,426
6月	241,639	243,585	245,815	245,137	245,622
7月	257,629	262,317	261,965	262,218	262,538
8月	349,118	351,313	350,660	351,824	351,643
9月	263,103	262,398	264,675	264,856	265,048
10月	264,063	266,998	269,082	268,974	269,400
11月	263,848	270,238	270,079	270,836	270,768
12月	259,739	261,462	261,951	262,396	262,316
1月	272,194	270,750	272,158	271,892	272,279
2月	261,012	262,447	262,530	262,898	263,104
3月	304,473	305,991	305,929	306,690	306,528
計	3,212,683	3,240,017	3,248,330	3,253,214	3,254,463

令和7年4月～7月宿泊客数実績	
入湯税ベース	959,800
宿泊税ベース	1,031,826
比較	1.0750



◎ 宿泊税ベースの宿泊客数推計

	単位:人				
	R8	R9	R10	R11	R12
4月	256,262	261,073	260,731	262,155	262,087
5月	255,313	257,653	259,036	259,772	259,543
6月	259,772	261,865	264,261	263,533	264,054
7月	276,962	282,002	281,623	281,896	282,240
8月	375,317	377,676	376,975	378,226	378,031
9月	282,847	282,089	284,537	284,732	284,938
10月	283,879	287,034	289,274	289,159	289,617
11月	283,648	290,517	290,347	291,160	291,087
12月	279,231	281,083	281,608	282,087	282,001
1月	292,620	291,068	292,582	292,296	292,712
2月	280,599	282,142	282,231	282,626	282,848
3月	327,322	328,954	328,887	329,705	329,530
計	3,453,773	3,483,157	3,492,094	3,497,344	3,498,687



◎一人当たり市内での年間消費額

世帯消費額	235,120 円/月	総務省「家計調査(家計収支編)」※2021年時点 総務省「家計調査(家計収支編)」※2024年時点 総務省「全国家計構造調査2019年」静岡県のデータ
世帯人員	2.17 人	
地元消費比率	0.467472	
年間消費額	607,808 円/年	

◎熱海市の人口

令和7年3月	33,000 人	
令和12年	30,635 人	シナリオ5
比較	▲2,365	

◎旅行者一人当たり観光消費額

	国内旅行	訪日旅行	
1回あたり消費額	69,362	227,000 円/回	観光庁「旅行・消費動向調査2023」ほか
1回あたり泊数	1.7	9.0 泊/回	観光庁「インバウンド消費動向調査2024」ほか
1泊あたり消費額	40,801	25,222 円	
補正額	28,561		交通費を3割で仮定

- 人口減少による市内経済への影響 (人口減少数×年間消費額) 1,437,467 千円
- 宿泊客数増でカバーする場合の試算 (市内経済への影響÷1泊あたり消費額) 50,330 人 ①

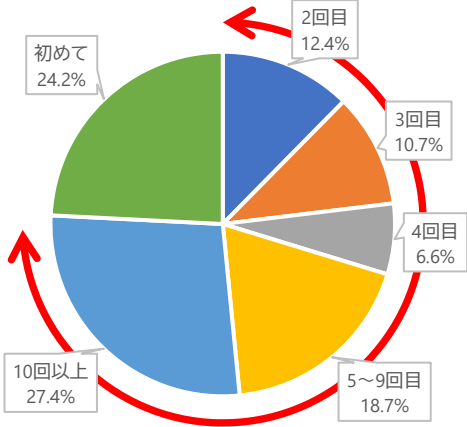
令和7年度宿泊客数見込 3,403,631 人
令和12年度宿泊客数見込との比較 95,056 人 ②
②>① 令和12年度宿泊客数 目標 3,500,000 人

② リピーター率(過去3年以内に来訪) 【2024意外と熱海アンケート調査】

区分	件数	割合	リピーター率	前回訪問	件数	割合	3年以内 リピーター率
初めて	670	24.2%	75.8%				56.6% ①÷②
2回目	343	12.4%		6ヶ月以内	654	31.2%	
3回目	296	10.7%		6ヶ月～1年前	435	20.7%	
4回目	184	6.6%		1年～2年前	316	15.1%	
5～9回目	518	18.7%		2年～3年前	161	7.7%	
10回以上	758	27.4%		3年以上前	533	25.4%	
	2,769 ^②				2,099		

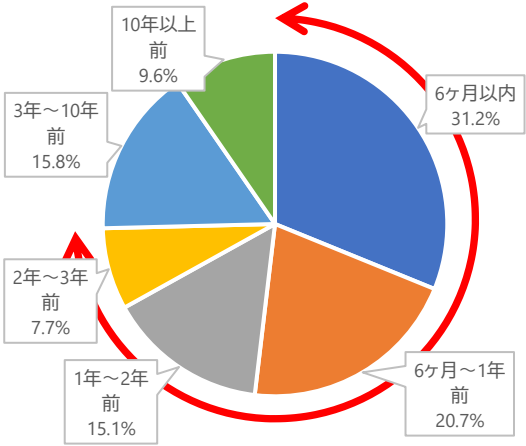
2030年 目標
65.0%

■ 来訪回数



リピーター率：75.8%

■ 過去3年以内の来訪割合



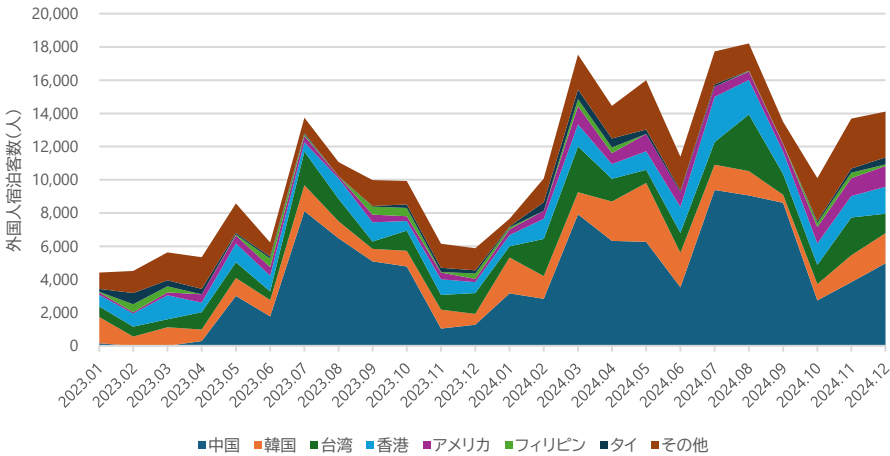
過去3年以内リピーター率：56.6%(全体)
<再来訪者中：74.6%>

③ 宿泊客に占める外国人比率 【おでかけウォッチャー訪日版】

	2023	2024
宿泊客数	2,969,420	3,069,122
うち外国人	112,146	169,583
比率	3.8%	5.5%

2030年 目標
8.5%

月別 外国人宿泊客数(R5-R6)



※ 観光立国推進基本計画(第4次)

2030年目標 6,000万人 > 162.7%
2024年実績 3,687万人

旅行者体験価値指数 = 90点以上

指標	基準年(2024)	目標(2030)	重み
宿泊客数	306.9万人 (329.9万人) [※]	350万人	0.4
リピーター率	56.6%	65.0%	0.4
外国人比率	5.5%	8.5%	0.2

◎計算例

宿泊客数 340万人、リピーター率 60%、外国人比率 8.0%

旅行者体験価値指数 =
 $(340/350) \times 100 \times 0.4 + (60/65) \times 100 \times 0.4 + (8.0/8.5) \times 100 \times 0.2 = \mathbf{94.6点}$

※ 2024年度は宿泊税導入前であったので、入湯税による宿泊客数に令和7年ベース実績1.075を乗じて補正

観光消費に伴う市内経済波及効果

① 観光消費額

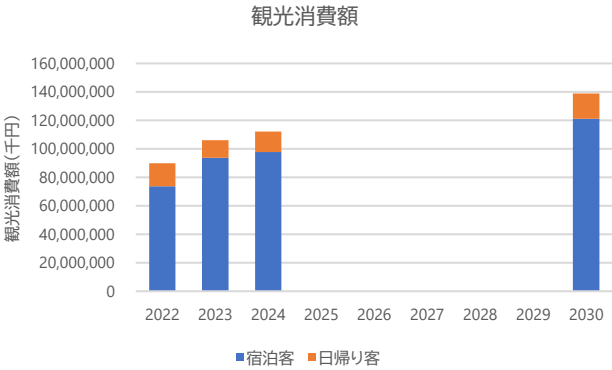
単位:円							
年度	区分	人員(人)	宿泊費単価	土産代単価	外食費単価	消費額(千円)	総消費額(千円)
2022	宿泊	2,491,752	17,278	5,342	6,971	73,733,433	89,951,884
	日帰り	1,849,732	—	3,995	4,773	16,218,450	
2023	宿泊	2,969,420	19,021	5,485	7,064	93,744,589	106,166,465
	日帰り	1,399,175	—	4,099	4,779	12,421,876	
2024	宿泊	3,069,122	18,715	5,968	7,170	97,760,743	112,071,834
	日帰り	1,537,009	—	4,241	5,070	14,311,091	

※
「宿泊客数」：入湯税利用人員

「日帰り客数」：おでかけウォッチャー国内版の来訪者データから宿泊客数を控除した数

2030	宿泊	3,500,000	20,321	6,480	7,785	121,053,687	138,746,383
	日帰り	1,750,000	—	4,605	5,505	17,692,696	

※ 2030年度の各単価は、内閣府試算の消費者物価上昇率を適用
2025年:2.4% 2026年:1.9% 2027年以降:1.0%で推移



◎ 産業別影響

単位:百万円				
	総支出額	直接効果	間接1次	間接2次
農業	0.0	0.0	257.5	40.0
林業	0.0	0.0	31.0	3.6
漁業	0.0	0.0	50.8	3.7
鉱業	0.0	0.0	0.0	0.0
食料品	18,443.3	453.1	557.8	101.1
紙・木製品	2,766.5	57.9	26.2	2.7
窯業・土石製品	922.2	111.8	37.6	3.4
その他の製造工業製品	8,606.9	2.2	1.2	0.9
建設	0.0	0.0	331.4	79.0
電力・ガス・熱供給	0.0	0.0	1,224.2	159.2
水道・廃棄物処理	0.0	0.0	3,116.4	188.7
商業	0.0	8,109.4	2,670.7	1,299.3
金融・保険	0.0	0.0	904.5	846.1
不動産	0.0	0.0	1,499.9	5,411.9
鉄道輸送	0.0	5.7	91.7	131.7
道路輸送	0.0	551.3	2,999.4	490.7
水運	0.0	27.0	10.4	2.7
その他運輸	0.0	0.0	271.6	28.8
情報通信	0.0	0.0	525.7	228.6
公務	0.0	0.0	50.7	105.6
教育・研究	0.0	0.0	17.7	313.9
医療・福祉	0.0	0.0	4.4	1,136.4
その他の非営利団体サービス	0.0	0.0	162.1	211.4
対事業所サービス	0.0	0.0	2,349.3	467.1
宿泊業	71,123.5	71,123.5	0.0	117.4
飲食サービス	36,881.3	36,881.3	863.2	1,083.7
娯楽サービス	0.0	0.0	191.9	656.7
その他の対個人サービス	0.0	0.0	837.9	718.7
事務用品	0.0	0.0	239.5	19.6
分類不明	0.0	0.0	190.0	26.5

観光消費に伴う市内経済波及効果 = 1,500億円

◎ 熱海市産業連関表(H27表)での分析

	総支出額	経済波及効果			合計
		直接効果	間接1次	2次	
宿泊客	121,051	105,246	17,739	12,315	135,300
日帰り客	17,693	12,077	1,776	1,564	15,417
合計	138,744	117,323	19,515	13,879	150,717

(単位:百万円)

	付加価値誘発額	雇用誘発数(人)	市民税誘発額
宿泊客	68,406	13,695	1,482
日帰り客	7,512	2,095	186
合計	75,919	15,791	1,668

列和	138,744	117,323	19,515	13,879
----	---------	---------	--------	--------

市民による推奨度（NPS）

① 観光施策に対する市民満足度「市民アンケート」2024年度結果

項目	満足している	やや満足	どちらでもない	まあ不満	不満である	無回答
年間300万人以上の宿泊観光客の確保・維持	9.2%	24.7%	51.4%	9.0%	4.8%	1.0%
若年層をターゲットとした観光PR	8.7%	24.4%	45.8%	13.9%	6.0%	1.1%
外国人観光客増加のための受入環境整備等	3.7%	9.8%	56.4%	18.7%	10.6%	0.9%
伊豆地域や箱根と連携した広域観光の展開	5.4%	19.0%	58.1%	12.3%	3.7%	1.5%
メディア誘致活動	12.3%	25.1%	49.1%	7.6%	3.8%	2.1%
クルーズ船誘致を含めた熱海港湾エリアの整備	6.1%	17.7%	59.2%	11.4%	4.5%	1.0%
温泉資源の維持・活用	9.0%	22.5%	47.5%	14.0%	5.3%	1.7%
「梅」「桜」「ジャカランダ」など花の名所づくり	20.4%	40.2%	26.7%	8.0%	2.3%	2.5%
「花火大会」などのイベントによる誘客	15.5%	31.2%	26.0%	15.6%	9.2%	2.5%
市民観光ボランティアの養成と活動支援	5.0%	13.1%	68.6%	9.8%	2.1%	1.4%
観光繁忙期の駐車場や渋滞対策	1.6%	3.3%	17.3%	35.1%	41.6%	1.0%
評価の平均	8.8%	21.0%	46.0%	14.1%	8.5%	1.5%
満足度	29.8%					

年度	満足している	やや満足	どちらでもない	まあ不満	不満である
2024	8.8%	21.0%	46.0%	14.1%	8.5%
	推奨者		中立者	批判者	
	29.8%		46.0%	22.6%	

市民による推奨度(NPS) = 29.8 – 22.6 = **5.7（課題がある）**

市民による推奨度（NPS） = +10以上

※ 令和8年(2026) 市民アンケートで実施し、その結果に基づき目標を修正

■ 基本質問：「あなたは、熱海市を“観光地として” 家族・友人・知人にどの程度すすめたいと思いますか？」
回答スケール(0～10点) 0点:まったくすすめたいと思わない ⇄ 10点:非常にすすめたいと思う

■ 回答者の分類

区分	点数範囲	意味
推奨者（Promoter）	7～10点	強い推奨意欲、高い誇り、肯定的な印象をもつ
中立者（Passive）	5～6点	一応満足しているが積極的な推奨ではない
批判者（Detractor）	0～5点	推奨しない / 改善を求めている状態

KPI設定【E(環境)】

カーボンフットプリント指標(1人1泊あたりCO₂排出量の削減)

※ 現時点で基準値を把握できていないため、
当面の目標として「脱炭素化の準備」「カーボンフットプリントを見える化」等とし、基準データ収集後に、具体的な削減目標(%削減)を設定する

KPI設定【R(レジリエンス)】

BCP実効性指数(BCP策定率×BCP演習実施率)

※ 現時点で基準値を把握できていないため、
当面の目標として「BCP策定及び演習の実施」等とし、基準データ収集後に、具体的な数値目標を設定する